

展示状況



展示室

弥生土器
(湊中野遺跡)
弥生時代中期



土師器
(双水柴山古墳)
古墳時代前期



陶器 (小十古窯) 室町時代



古代の森会館全景

案内図



所在地 唐津市鏡1826-2 ☎0955-77-0510

利用案内

- 開館時間 午前9時から午後5時まで
- 休館日 月曜日(祝祭日が月曜のときは火曜日)
年末年始(12月29日~1月3日)
- 観覧料 大人 100円 小人 50円

古代の森会館
国土庁 田園都市構想モデル事業

唐津市教育委員会 ☎0955-72-9171
(公財)唐津市文化事業団 ☎0955-73-1601

からつ 古代の 森 会館

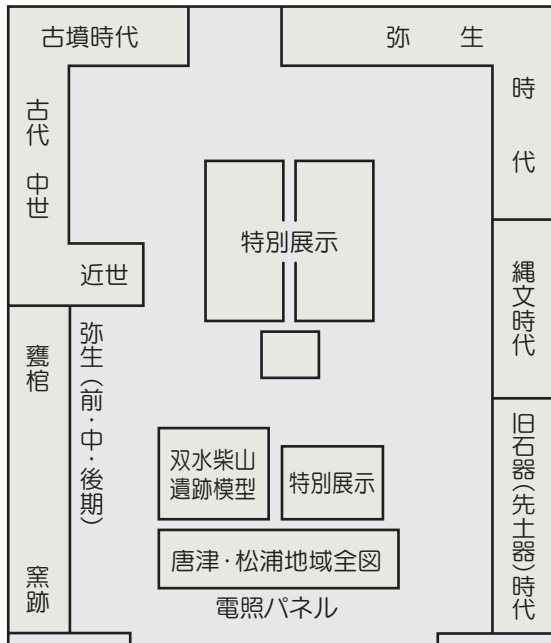


当館設立の目的

当地方は、古来大陸文化流入の門戸・大陸渡航の基地として繁栄し、日本歴史の発展の上からも重要な役割をはたした歴史の里であります。このことを裏付けるのが豊富な埋蔵文化財であり、「唐津」という地名の由来でもあります。

唐津市は昭和57年に国土庁から田園都市構想モデル事業の指定を受け、市の古代の森公園整備事業の中核施設として当館の建設に取り組み、昭和60年の2月に歴史資料館としてオープンしました。本館は唐津市・東松浦郡内の主要遺跡から出土した遺物を一堂に集め、各時代別に展示することにより、市民の皆さんの学習・研究に寄与することを目的にしています。今後も皆さんの興味と理解を深めていただくよう、展示に工夫を凝らし、内容の充実を図って、地域の歴史文化高揚のため努力を重ねて行きたいと思っています。

展示室案内



施設の概要

建設着工 昭和59年 1月21日
建設竣工 昭和59年10月20日
開館 昭和60年 2月 1日
構造 鉄筋コンクリート造二階建
建物床面積 1664.1㎡ 一階 883.65㎡
二階 780.45㎡
総事業費 425,671千円

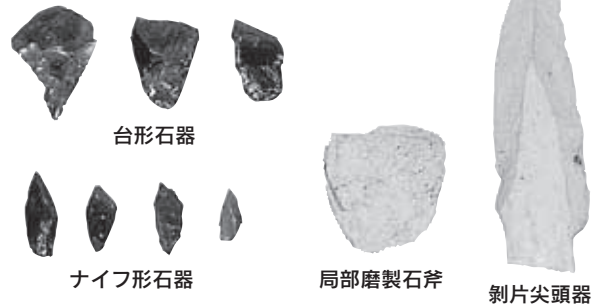
展示の内容

- 唐津市・東松浦郡の遺跡分布図
- 郷土史年表…日本の事項と唐津周辺の遺跡
朝鮮・中国との対比

■旧石器(先土器)時代 (人類の誕生と狩猟社会のはじまり)

ナイフ型石器、台形石器、石核・細石器ほか
＝枝去木山中・馬部甚蔵山・日の出松の各遺跡出土品

最古の石器群(約2.5～2.8万年前)
枝去木山中遺跡



■縄文時代 (土器の発明と狩猟社会の展開)

土器・石器・骨角器ほか
＝牟田の辻・小川島貝塚・コクダシ・徳蔵谷・高峰の各遺跡出土品

■弥生時代 (稲作の開始と大陸文化の流入)

青銅器・鉄器・土器(甕棺)・装身具ほか
＝柏崎田島・柏崎大深田・鎮西町中野・久里天園・天神ノ元の各遺跡出土品

■古墳時代 (古墳の造営と古代国家形成への動き)

鉄器・土師器・須恵器ほか
＝久里双水・中原・湊鞍・北久里の各遺跡出土品
※双水柴山遺跡の模型

■古代・中世・近世 (国家の整備と武家社会の展開)

土師器・陶磁器・古銭ほか
＝双水・松円寺山・名護屋城跡並陣跡・小十・坊主町・大名小路・唐津城二の丸の出土品



弥生時代の甕棺